

給食一口メモ

生活の中で食の大切さや、好き嫌いをなく食べる、規則正しい食習慣は幼い頃から身につけておくことが大切です。また、それとともに給食も食育を担う重要な取り組みです。

家庭でも食育に努めていただけでなく、学校と家庭が連携しながら、子どもの知力・体力向上のための体制づくりを進めます。

食育とは？

生活の中で食の大切さや、好き嫌いをなく食べる、規則正しい食習慣は幼い頃から身につけておくことが大切です。また、それとともに給食も食育を担う重要な取り組みです。

府内の中学校給食の状況は？

大阪府の中学校給食普及率は12.3%（平成23年3月現在）で、全国でも最低のレベルです。このため、大阪府では配膳室の整備などの初期投資に補助金を出す制度を平成23年度に創設しました。本市もこの補助金を活用し、いち早く中学校給食の実施に取り組むものです。

配膳室の整備は？

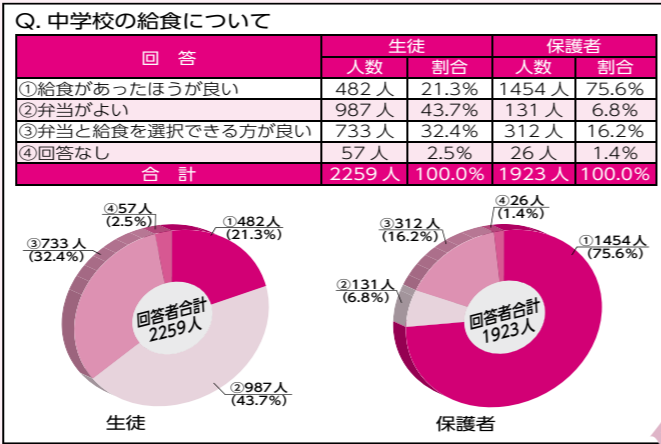
市では現在、全市立中学校にある配膳室を整備し、衛生的な環境を作り、保冷庫や牛乳保管庫を設置する計画を進めています。衛生環境の整った配膳室で、安心・安全な給食を提供します。



多くの保護者が実施を希望  
学校給食に関するアンケート調査

中学校給食については多くの保護者が実施を望んでいることがわかりました。その理由としては、学校給食が栄養バランスに配慮されていることや、献立に変化がありいろいろなものを食べる機会があることが挙げられています。また、給食の食べ残しがあることを懸念するご意見も多くありました。

一方、生徒の回答では給食を望む声は保護者ほど多くありませんが、給食を望まない理由として、給食では嫌いなおかずが出てくるとや昼休みが短くなることが挙げられ、子どもたちへの食に関する指導の必要性が感じられるものとなっています。なお、すべてのアンケート結果は市ホームページか市役所1階情報コーナーでご覧いただけます。



栄養バランスに配慮した給食を提供します

先日のアンケートでは、給食の実施を望む保護者の声の多くが、栄養バランスのとれた学校給食に対する期待でした。松原市の学校給食は、これまでも文部科学省の栄養摂取基準に従って実施しています。新たな中学校給食の実施にあたっては、栄養士がバランスのとれた献立を作り、旬の野菜や果物、地場産物を積極的に取り入れます。そして、栄養豊富な給食を民間調理業者が調理し、中学生の皆さんに提供することで、皆さんの声にお応えしていきます。



安心・安全な食材を選定・購入します

食材の購入にあたっては、市が責任を持って選定、購入します。選定にあたっては、産地とともに流通ルートも把握し、市が主体性を持って食材の安全性の確保に努めます。また、調理業者においても、市が選定購入した食材を使用して、国の衛生管理基準に従い、安心・安全でおいしい給食づくりに取り組みます。



給食費は255円  
ご協力をお願いします

市では、給食費をこれまで保護者負担として1食あたり255円を徴収してきましたが、今回の全員喫食の中学校給食においても、これまでと同様の1食255円とします。なお、市が負担する調理などにかかる経費は中学校給食において1食約250円を見込んでいます。保護者の皆さんには、ご理解いただき、給食費の徴収にご協力をお願いします。

給食を通じて  
就労を支援します

9月に、中学校1年生と2年生全員とその保護者の皆さんを対象に実施したアンケートで、最近の社会情勢を反映し、共働きのため学校給食を望む声が多くありました。子どもたちに安心・安全で栄養の行き届いた給食を提供することは、安心して就労していただけることにつながると考えています。子育て世代を応援し、魅力あるまちづくりを目指していきます。

大阪府内で  
初めての方式です

本市の中学校給食については、民間調理場で給食を調理し、各中学校へ提供するという方式で実施します。他市においても、民間調理場活用方式を採用しているところは徐々に増えています。

子どもたちの健やかな成長のために  
市立中学校全校で給食をはじめます



市教育委員会では、昨年9月に学校給食に関するアンケート調査を実施し、中学校の昼食の現状や生徒および保護者の皆さんのご意見もお伺いしました。

このアンケート調査の結果やこれまでの検討内容を踏まえながら、成長期という大切な時期にある子どもたちに、栄養バランスに配慮したさまざまなメニューの学校給食を提供することで、食に関する正しい知識を身につける教育の促進、健康づくりや体力・学力の向上、また、子育て支援や就労支援など、幅広い効果が期待できるものと考え、この度、すべての中学校で学校給食を実施することになりました。

問合せ 学校給食課(大堀学校給食センター ☎333-7060)